

学校だより

八幡台小学校

NO.486

令和2年11月30日

地域との関わりが多くなるこの時期の過ごし方

学校長 志場 俊之

コロナ禍の中、いかがお過ごしでしょうか。保護者の皆様には、家族の感染防止に大変ご苦労されていることと思います。これから、年末年始を迎え、行事ごとが増え、家族や親族、地域との交流が多くなることと思います。衛生面で特にご注意ください。

また、子どもたちも大人との交流の機会が増える時期ですので、今回、子どもの地域との関わりや地域の教育力による子どもの成長について、お話ししたいと思います。

笑顔で応対できる人に出会うととても気持ちのいいものです。自信に満ちた仕事をしている人の行動には無駄がありません。質問にハキハキと答える若者を見ると、とても爽やかな気持ちになるものです。自信を持った発言をする子どももよく見かけます。

大手の調査機関によりますと、若者の仕事における態度・能力に対する自信は、子ども時代の体験や親との関わりと関連しており、なかでも小中学校時代に親や学校の先生以外の大人と話すことが多かった若者ほど、仕事における態度・能力に自信をもっているとしています。

このほかにも、小中学校時代に大勢の友だちと遊んだり、地域の行事に参加したりしている若者ほど、仕事における自信が生まれているとしています。

子ども時代に様々な年齢層の人々と触れ合うことは、異なる価値観や考え方と出会うことにつながり、そういう関わりの中で、他者とのコミュニケーションや、感情のコントロールなどの社会的なスキルを身につけていくのではないかと考えています。

現代社会においては、核家族化、少子高齢化、社会の希薄化等により、近所づきあいが減少し、それに伴い異年齢の大人との接触も減少していくなど、地域の教育力の低下が問題となっています。

このような状況においては、人と出会う機会が少なくなり、関わる場もあまり生まれません。子どもに機会を多く持たせるためには、大人がそういう機会を捉え、家族や親族、地域の交流の場に出会わせることが大切です。かといってそういったことを望まない子どももいますので、入って行きやすい雰囲気を作ることも大人の役目かもしれません。

地域の教育力を高めるためには、今回の学習指導要領の改訂における基本的な考え方にもあるように、学校としても学習を地域の方の協力を得ながら行うなど、「社会に開かれた教育課程」を重視して取り組む必要があります。

学校と地域が協力して行事を行うことはもちろん、地域の方の考えを取り入れ学校教育に生かしていくなど、地域と学校がともに同じ目標に向かって育つ関係を作っていくことが大切であると考えます。地域の方との関わりを、本来どの子どもにも備わっている力を伸ばす機会ととらえ、親や地域の大人や同世代や異世代の子どもどうしなど、多様な交流の場を設けていきたいと考えます。

そのためには、子どもたちの健康や安全、健全育成の観点からのサポートも重要になります。コロナ禍で多少の活動への制限もかかるでしょうが、関係機関にも協力を仰いでいきます。家庭や地域の皆様方には、これまでと変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。

12月のスケジュール



- 1日(火) 登校指導 下校指導
- 3日(木) SC来校
- 4日(金) 諸費集金袋配布 給食費育友会費自動払込日① ALT
- 7日(月) 諸費集金日 ALT 移動図書館
- 8日(火) 諸費集金日 ALT 県到達度調査
- 10日(木) 加太合宿5年① 給食費育友会費自動払込日② 禁煙教室6年 SC来校
- 11日(金) 加太合宿5年②
- 14日(月) 修学旅行6年①
- 15日(火) 修学旅行6年② 登校指導 下校指導
- 17日(木) 育友会広報部会 SC来校
- 21日(月) 移動図書館
- 23日(水) 給食終了
- 24日(木) 終業式 11時40分下校 SC来校

25日(金) ~1月5日(火) 冬休み



★1月の主な行事★

- 移動図書館 1月 4日(月)
- 始業式 1月 6日(水)
- 下校 11:40
- 自動払込日① 1月 5日(火)
- 給食開始 1月 7日(木)

十一月の行事



「クリーン作戦」みんなで学校をきれいにしました。

とってもきれいになり気持ちよくなりました。



「わうくらす 3年」



子どもセンター「テニス教室」